

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※各事業名右の「継*」「公*」表記について（*は数字）

- ・「継」は、継続事業（当研究所が一般財団法人への移行の認可を受ける前から実施している事業）のこと。「*」は事業番号を表します。
- ・「公」は、公益目的事業（当研究所が一般財団法人への移行の認可を受ける前から実施している事業であり、公益法人認定法に規定する公益目的事業）のこと。「*」は事業番号を表します。

1. コンクール事業(継1)

(1) 全国コンクール(第47回)

小学校児童の読書力の養成と併せて書く力も高揚されることを目的として読書感想文コンクールを実施しました。

- ・応募数 17,325点(329校)
- ・授賞数〔個人賞〕文部科学大臣賞(3点), 石森延男賞(1点)
最優秀賞(12点), 優秀賞(12点), 優良賞(36点),
佳作賞(127点), 奨励賞(248点)
〔学校賞〕最優秀校(1校), 優秀校(3校), 優良校(5校),
奨励校(50校)

- ・表彰式(訪問表彰)

対象：個人賞の文部科学大臣賞受賞者(3名)および学校賞の最優秀校(1校)

文部科学大臣賞〔低学年〕	山口県下松市立下松小学校	2年	岡村実柚
〔中学年〕	徳島県(私)生光学園小学校	3年	橋爪爽次郎
〔高学年〕	兵庫県神戸市立神戸祇園小学校	5年	澤井琉人
最優秀校	千葉県松戸市 私立聖徳大学附属小学校		

期間：令和5年12月3日～令和6年1月10日(訪問表彰が終了した日)

(2) 岐阜県コンクール(第44回)

岐阜県の小学校児童の読書力の養成と併せて書く力も高揚されることを目的として読書感想文コンクールを実施しました。

- ・応募数：2,207点(129校)
- ・授賞数〔個人賞〕岐阜県知事賞(3点), 岐阜県教育委員会賞(3点),
今井鑑三賞(1点), 最優秀賞(6点), 優秀賞(12点),
優良賞(12点), 佳作賞(36点), 奨励賞(102点)
〔学校賞〕最優秀校(1校), 優秀校(3校), 優良校(6校),
奨励校(17校)

・表彰式（訪問表彰）

対象：個人賞の岐阜県知事賞受賞者（6名）および学校賞の最優秀校（1校）

岐阜県知事賞	〔低学年〕	瑞穂市立牛牧小学校	2年	久富史織
	〔中学年〕	岐南町立北小学校	4年	加藤剛士
	〔高学年〕	岐阜市立厚見小学校	6年	平光穂乃佳
岐阜県教育委員会賞	〔低学年〕	各務原市立中央小学校	1年	小林 傑
	〔中学年〕	瑞穂市立生津小学校	3年	牛島充人
	〔高学年〕	岐阜市立華陽小学校	5年	柳原正宗
最優秀校		各務原市立鶴沼第三小学校		

期間：令和5年12月12日～令和6年1月17日（訪問表彰が終了した日）

2. 教育研究事業(継2)

(1) 道徳と特別活動の教育研究賞(第40回)

道徳科や特別活動の実践論文を募り、研究を奨励するとともに、その輪を広げ、学校における道徳科や特別活動の発展に寄与することを願い、実施しました。

- ・応募数 21点(道徳の部：9点、特別活動の部：12点)
- ・授賞数〔道徳の部〕文部科学大臣賞・最優秀賞(1点)、優秀賞(1点)、奨励賞(2点)
〔特別活動の部〕文部科学大臣賞・最優秀賞(1点)、優秀賞(1点)、奨励賞(2点)
- ・表彰式 令和6年2月17日(土)第27回教育セミナー内で実施
対象は、道徳の部、特別活動の部の文部科学大臣賞・最優秀賞受賞者(団体)

(2) 視聴覚教育促進のための助成

岐阜県内の小・中学校及び特別支援学校を対象に、視聴覚教育促進のための助成を実施しました。(昭和54年度より実施)

- ・贈呈式：令和5年9月6日(水) 於：岐阜県庁
- ・贈呈品：プロジェクター
- ・贈呈校：岐阜県教育委員会の推薦による10校

3. 研究会事業(継3)

小学校児童の豊かな学びと育ちを実現するために、教育実践者が共に考え話し合いながら、お互いの授業力向上のための手立てを共有し、手応えを実感できる実践交流の場として研究会を開催しました。

(1) 第 27 回教育セミナー

- ・開催日：令和 6 年 2 月 17 日(土)
- ・会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・大会テーマ：「自立した学びの実現をめざして」
- ・参加者数：一般 397 名、学生 47 名、招待者 54 名 合計 498 名

(2) 教育実践フォーラム 2023

新しい研究テーマ、内容の検討と、それを実施する研究会を立ち上げのための活動を行っています。なお、発表会イベントは行いませんでした。

(「教育実践フォーラム」に代わるものとして検討中)

4. 企画・編集事業(継4)

(1) 教育時報

教育にかかわる新しい動向や、全国各地の授業研究などの情報を提供するために発行しました。

- ・131号(8月発行)、132号(2月発行)

(2) 教育実践研究 2023

(「教育実践フォーラム」に代わる)発表会イベントを行いませんでしたので、「教育実践研究」は発行しませんでした。

5. 調査・研究事業(公1)

これまでは「漢字・計算の習得状況調査」を中心に実施しておりましたが、令和3年度より、調査対象を教育課程全般に広げ、小学校等の各教科における指導改善や学校用教材改善の参考となる基礎資料を得るために、調査・分析・研究を行なっております。

令和5年度は、「学習指導に対する教員の意識調査」の集計・分析を行い、7月に報告書を発行いたしました。(令和5年2月～3月に調査実施)

調査の目的は2つです。

- ① 学習指導要領が示したさまざまな教育課題に基づく学習指導が、各学校においてどのように実施されているのか。教員は新しい学習指導の課題に対して、どのような意識をもって実施しているのか。これら教育課程の実施上の課題を把握することにより、今後の教育活動の充実に資するための情報を得ること。
- ② わが国で長く評価教材として使用されてきた「ペーパーテスト」に焦点を当て、その作成と使用の状況を把握し、デジタルへの対応も含め、ペーパーテストの今後のあり方を検討する基礎資料を得る。